

土砂災害に備えて

問い合わせ先 ■新郷村役場 代表電話（直通）：78-2111

①土砂災害警戒区域や避難場所を確認しておきましょう！（表面参照）

① 日頃の備え



②雨が強くなってきたら、雨量情報、予報、警報情報を入手しましょう！

- テレビやラジオ等の天気予報などで気象情報を確認しましょう。
- 雨が強くなってきたら、電話やインターネットでも確認しましょう。
 - ・最新の天気予報、注意報、警報についての問い合わせ：青森地方気象台
電話：017-741-7459（自動応答・24時間対応）
 - インターネット：<http://www.sendai-jma.go.jp/tidai/aomori/>

②雨が強くなってきたら



前兆発見時、災害発生時の主な連絡先

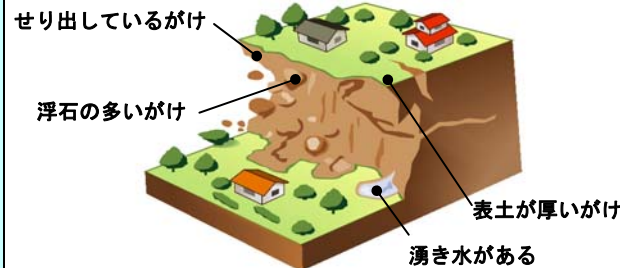
新郷村役場	78-2111
五戸消防署西分遣所	78-2119
三八地域県民局河川砂防課	27-5154
新郷駐在所	78-2110
常会長さん（ ）	
班長さん（ ）	

※常会長さんなどの地区代表者の連絡先を調べて記入願います。

③前兆現象を見つけたら役場、常会長へ連絡しましょう！

がけ崩れ

地面にしみ込んだ雨水などが土の抵抗力を弱め、弱くなった急ながけ地や斜面が突然崩れ落ちることです。地震によって起こることもあります。突発的に起こり、瞬時に崩れたり落石があるので、逃げ遅れた場合、死傷者がでる割合が高くなります。



こんなときは赤信号！

- 斜面の途中から水が急に湧き出してくるとき。
- 斜面からバラバラと小石等が落ちてくるとき。
- 石垣や擁壁にすれ、盛り上がり、亀裂があるとき。



土石流

谷や斜面に溜まった土砂が、大雨による水といっしょになって、一気に流れ出してくるものです。破壊力が大きく速度も速いので、大きな被害をもたらします。「山津波」とも呼ばれます。



こんなときは赤信号！

- 立木の裂ける音や巨礫の流れる音が聞こえるとき。
- 溪流の流水が急に濁りだしたり、流木などがまざっているとき。
- 降雨が続いているにもかかわらず溪流の水位が急激に減少しはじめたとき（上流で崩壊した土砂により流れが止められているおそれがある。）



③前兆を見つけたら



役場、三八地域県民局等へ通報

わが家の防災メモ

避難する場所	
連絡をとる相手	

④避難勧告などの連絡があったらすぐ避難しましょう！

④・⑤ 避難



⑤避難のときにはこんなことに気をつけましょう！

- 避難場所へ避難する際には、他の土砂災害危険箇所や浸水想定区域（浸水するおそれがある区域）を避けた避難経路を選択しましょう。
- 危険斜面から直角方向に避難し、できるだけ斜面（崖）から離れましょう。

- 土砂災害は短時間豪雨や長雨などの大雨に伴って発生しますが、急傾斜地のどこでいつ起きるかを正確に予測することは困難です。
- 土砂災害が発生するおそれがあるときは、テレビ、ラジオ等の最新情報に注意し、非常持出品を持って速やかに安全な場所に避難してください。
- いざというときに備え、避難場所やそこまでの経路を確認しておきましょう。
- 土砂災害の危険から身を守るのはあなた自身です。